

土砂災害に対する

防災訓練を実施



▲一時避難所に集合（梶原）



▲消防団による土のう設置（旧奈和）

防災訓練 梶原・旧奈和・門前に避難勧告

11月4日に梶原、旧奈和、門前集落で土砂災害を想定した防災訓練を行いました。

当日は、保健福祉センターなどで、鳥取県西部町村合同避難所運営訓練も兼ねて行い、県西部の7町村から約30名の職員が訓練に参加しました。

大山町災害対策本部では、町指定避難所を開設するための職員が不足しているため、西部町村に応援派遣を依頼。各町村から派遣された職員と協力し、町指定避難所の開設及び避難者の受け入れ、運営にあたり

いう想定で、この運営訓練は平成28年から各町村を会場に行っています。

今回の訓練は、梶原、旧奈和、門前集落の皆さんをはじめ、大山町消防団や、琴浦大山警察署、大山消防署、赤十字奉仕団、社会福祉協議会が参加しました。

内容は、豪雨により土砂災害の被害が発生する可能性が高いことから、「警戒レベル4（避難勧告）」の発令や、土砂災害発生による「警戒レベル5（災害発生情報）」を発令しました。

町指定避難所へ避難された住民の